

協働フェスタ 今年も「9円コーヒー」「大声コンテスト」は大人気!

9月21日(土)10時~15時まで中央市民会館全館とその前庭で、「第17回協働フェスタ」が開催されました。この主催は協働フェスタ実行委員会で、こしがや市民連合会と越谷市が共催するものでした。これには市内で活動をしている94団体が参加し、越谷市内における一大イベントになっています。

越谷九条の会は「9円コーヒー」の販売と「大声コンテスト」の催しで参加しました。コーヒーはたったの9円、砂糖とミルクは、それぞれ10円で提供でした。「安い、本当ですか、何で」「おいしいよ、もう一杯」「来年もまた来るよ」の声がこだましていました。なんと昨年を上回る280杯の完売でした。

大声コンテストは、20人の定数が開始前に早々埋まってしまいました。普段は、なかなか大きな声を出し

にくい状況ですが、みんなの応援の中で、初めての経験と思われる小さな子が「ママ大好き」と叫んでいる姿がとっても感動を呼びました。1等賞のお米5キロは、バスケット少年がゲット。日頃の練習の成果かな。

[追記] NHK朝の連続ドラマ『虎に翼』に度々登場した「憲法第14条」、このドラマの精神でしょうか。

【憲法第14条 法の下での平等】
すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

(越労連 河田隆司)



「協働フェスタ」名物となった「大声コンテスト」(左)と、おなじみ「九条9円コーヒー」……カンパもありがとう。

●自主上映会を開催します。

『標的の村』『沖縄スパイ戦史』の三上智恵監督最新作

戦雲

いくさふむ

監督 三上智恵
語り 山里節子
プロデューサー 橋本佳子
イラスト 山内若菜
音楽 勝井祐二



11/2

土

越谷市中央市民会館劇場

13:30 開場 14:00 上映開始

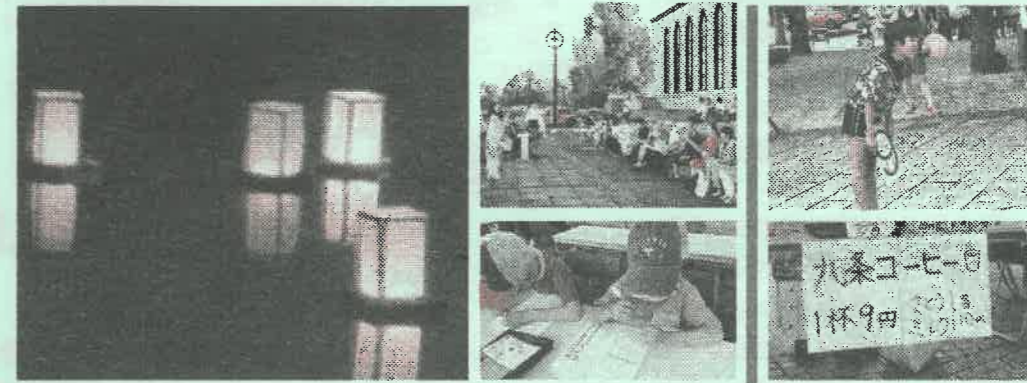
●主催「戦雲」上映実行委員会

「国防」をうたい棄民亡国へ突き進む人々へ
島々から平和への切なる祈りをこめて

沖縄本島をはじめ、南西諸島の島々をめぐる、2015年から8年かけて取材を行ったドキュメンタリー。日米政府主導で戦力配備が進む沖縄・南西諸島と、島の暮らしや祭りの様子を描き、メディアが報じることのないまま進められる国防計画の恐ろしさを解き明かしていく。

越谷九条の会ニュース

事務所 〒343-0813 埼玉県越谷市越ヶ谷1-11-35 吾山ビルⅡ3F石河綜合法律事務所内
TEL.048-964-7511 FAX.048-964-5180 郵便振替 00140-3-426889 越谷九条の会



平和を願う
音楽と灯ろう流しの夕べ
協働フェスタ、どちらも
大盛況でした。
また来年も。

そして総選挙

安藤博

●政権交代は？

東京地検特捜部が昨年未政治資金規正法違反容疑で強制捜査に乗り出したのに始まる裏金疑惑問題で日本の政界は大きく揺れ、自民党の総理総裁が変わったあけくの10月27日総選挙である。裏金疑惑がもたらした政界騒動は、田中金脈やリクルート事件などよりも深く大掛かりである。それを受けた総選挙だから、当たり前なら政権交代となるはずだ。だが、どうだろう。

自民党のカネに関わる腐敗がこれほどにさらけ出されながら政権交代に至らないとすれば、日本は、世界の議会制民主主義国家のなかでもまれな一党独裁を継続していく不思議な国ということになる。それはいったい何故なのか。

●“アカ”嫌い

戦後50回目の総選挙である。数年の例外を除き半世紀にわたって「何があっても自民党」が続いてきた。それが次の選挙でも続くのなら、その理由は「党首のすげ替え」のような小手先の選挙戦術の妙などではない、もっと根の深いところにあると言わざるを得ない。あえて私見を言えば、日本の政治の根っこにある“アカ”嫌いがもたらす結果である。

“アカ”とは、ワインの種類をいうものではもちろんない。旧ソ連につながる暴力革命への連想から日本共産党を“アカ”と忌避する事であった。いまでは死語となっている“アカ”だが、こんどの選挙でもその帰趨に“アカ”嫌いが強く働くだらう。それは、“アカ”嫌いが日本共産党という一政党の好き嫌いとどまるものではないからである。時の政権、権力者、お上にたてつき異を唱えるものを、総じて異分子として嫌う。日本人の多くに広がっている空気が“アカ”嫌いなのである。その意味では、石破氏が総務大臣として内閣に取り込んだ村上誠一郎氏は、言ってみれば自民党内の“アカ”である。2014年7月1日に安倍政権が集団的自衛権行使容認を閣議決定したのを「憲法違反」とするなど、本当のことを言ったため党内では干されていたひとなのだから。

●何があっても……

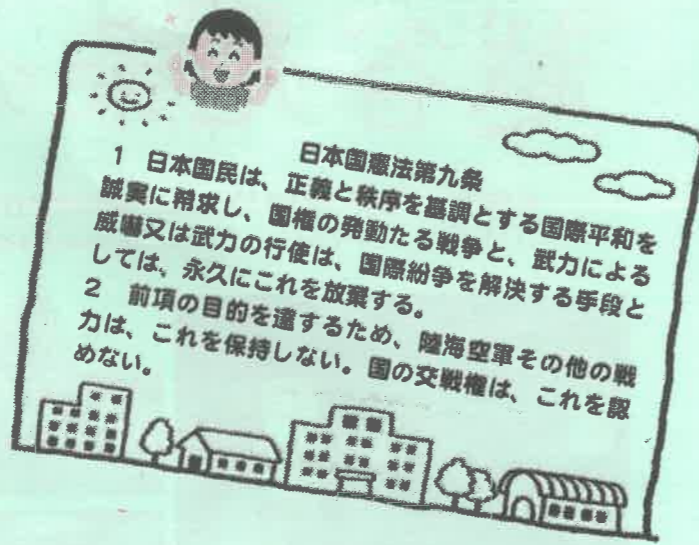
裏金問題で自民党批判が高まるなか、マスコミは「国民の信頼を回復せよ」としきりにお説教をしている。だが、10月27日の衆議院選挙で自民が勝つとしても、それは自民党が選挙民多数の信頼を回復したからでは毛頭なからう。野党を、政権にたてつく「野党」であることをもって嫌う選挙民が、日本の有

権者の過半数を占め「なにがあっても自民党」に票を投ずるからである。「何があっても自民党」の対極に、「なにがあっても嫌いな野党」がある。

●野党が本気に

裏金疑惑で自民党に強い逆風が吹いている中とはいえ、安倍一帯一岸田と次第に募ってきた自民党のやりたい放題にブレーキをかけるだけの議席を野党が獲得するのは、以上のような日本の政治の根底に根差す宿痾からしても容易なことではない。「アカ」嫌いは、従来野党を支えてきた労働組合にも浸透して、それが野党統一の選挙戦略を致命的に阻害している。

わたしたち市民は、先の戦争以前にさかのぼる「アカ」嫌いの呪縛を超え各野党が本気で野党統一の選挙を行うよう、あらゆる場面で働きかけを強めていかねばならない。今日の日本の最重要課題である「自民党のやりたい放題阻止」の一点に絞って闘う野党統一のためには、共産党が好きであろうが嫌いであろうが、また共産党の側からすれば好かれようが嫌われようが、どうでもいいではないか。



筆者自らの地元選挙区がその典型だったが、立憲民主党以下野党が乱立して自民を勝たせるためだけに闘うバカ丸出しの選挙をしないよう、わたしたち市民が大きな声をあげていきたい（『越谷九条の会ニュース』2023年7月9日号所収の「生きる」を参照）。

第19回 平和を願う音楽と灯ろう流しの夕べ 越谷の夏 1100名の市民が楽しむ

8月17日、「第19回平和を願う音楽と灯ろう流しの夕べ」が開催されました。

春から実行委員会を立ち上げて、様々な打ち合わせ、関係者の方々との交渉依頼等、準備してきました。今年も猛暑の中8月17日（土）当日を迎え、準備設営開始。午後から曇り空になり、夕方からは心地よい風が吹いてきて夕涼みとなりました。

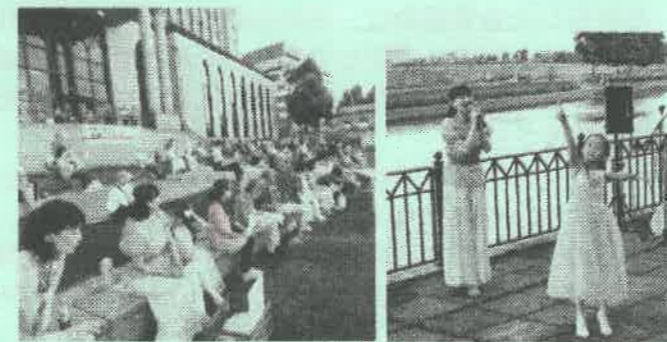
会場の中央市民会館東側、葛西用水芝生広場では、プロ歌手の大岩ファミリー、グループ合唱団、ハワイアン、フラダンス等の素敵な演奏合唱、ダンスが披露され、参加した市民も皆楽しんでいました。今回も子ども連れの家族が多く参加され、ほのぼのとした光景でした。

今年の出店は、生ビールほかのドリンク、焼きそば、フランク、かき氷、本場インドのナン、タンドリーチキンなど。ほかに、初めてキッチンカーが登場、クレープを販売し、賑やかな出店でした。

夕方から灯ろうの受付に購入者が多数集まり、18時から葛西用水岸辺にて灯ろうを流します。今年は灯ろうが風に吹かれて、うまく川の流れに乗り、川面に浮かぶ灯ろうは大変幻想的な雰囲気で大成功でした。

来年は「灯ろう流しの夕べ」第20回、そして戦後80年という節目の年です。より多くの市民に楽しんでいただける越谷夏の風物詩、「灯ろう流しの夕べ」をさらなる高みを目指して開催したいと思います。

おつかれさまでした。(田中英樹)



「越谷九条の会」趣意

- ①政党・宗教を持ち込まない
②個人で参加する
③誰でも参加できる（住所不問）
④決定は極力全員一致
⑤個人情報以外の目的に使わない
⑥会費なし、カンパで運営

賛同者

1030人

(2024.9.30現在)



●核兵器禁止条約オブザーバー参加要請意見書の請願、採択される！

「日本政府は、来年3月に開催予定の核兵器禁止条約第3回締約国会議にオブザーバーとして参加すること」の意見書を国に提出してください。

上記内容の請願を越谷市議会に提出したところ、2024年9月26日の本会議において、賛成24、反対7で可決されました。反対したのは自民党越谷市議団の7名だけで、その他の会派は、公明党を含めて全員賛成でした。ご尽力を頂いた皆様に感謝するとともに、まだまだ捨てたものではないとの思いを強くしました。

核兵器に関しては、「核兵器不拡散条約」が1970年に発効し、日本をはじめ191か国が参加しています。この条約は核の拡散防止と核軍縮や平和利用の推進をはかっています。一面核兵器の保有を公認するものでした。

「核兵器禁止条約」は、核兵器が2度と使われないようにするには核兵器を完全になくさなければならない、とする条約で、2021年に発効し、現在73か国が批准して

います。条約の中に「ヒバクシャ」という言葉が使われ、広島・長崎が強く意識された内容です。

唯一の被爆国である日本は、この条約に距離を置いています。核抑止力の傘のもと、米国に反対できないからです。しかし、ドイツなどもすでにオブザーバーとして参加しています。日本も、せめてオブザーバーとしてだけでも会議に参加すれば、核兵器の廃絶に向け被爆国としての役割を十分果たすことができると思います。

ロシアが公然と核兵器の行使をちらつかせる現在、単なる核抑止論だけでは核兵器の恐怖から逃れることはできません。

自民党を除くすべての議員さんたちは、私たちの切なる願いに賛成してくれました。全国でも700近い自治体議会が核兵器禁止条約に日本が参加するよう求めています。自民党の議員さんたちも、そろそろ一歩踏み出す時期が来たのではないですか。(石河秀夫)

【請願第3号】核兵器の廃絶に向け被爆国として役割を果たすことを求める意見書の提出を求める件 《請願の要旨》

以下の内容の意見書を国に提出してください。

日本政府は、来年3月に開催予定の核兵器禁止条約第3回締約国会議にオブザーバーとして参加すること。

《請願の理由》核兵器のない世界に向けた国際的な機運が高まっています。国会及び政府におかれてはこの機会を逃すことなく、核保有国と非核保有国の橋渡しに努めるなど主導的役割を果たすことを求められています。核兵器禁止条約は2回の締約国会議を経て、核兵器の非人道性を再確認するとともに、核被害者援助など、条約の内容を実現する方策と具体的な手順や行動の方針が示されています。この会議には、核保有国やその同盟国の多くが参加していないことが大きな課題とされています。核保有国やその同盟国の多くが参加し議論がおこなわれることが、ますます重要です。政府はこの間唯一の被爆国として、また福島原発による甚大な放射能被害への対応を含めて、様々な施策とアピールを発しており、その重さは世界各国に大きな影響を与えて来た実績があります。この様な評価を更にすすめるためにも、今もなお核兵器使用のリスクに世界が直面する中で、核兵器廃絶の実現に向け特別の役割と責任を負っていることから、要旨に記した項目を要請します。地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願いたします。

Table with 2 columns: Date and Activity. Activities include '238th Executive Committee Meeting', '4th Lantern Floating Event', '2nd Article 9 Memorial Construction Committee Meeting', etc.

Table with 2 columns: Date and Activity. Activities include '241st Executive Committee Meeting', 'Petition Acceptance City Report Meeting', '83rd Newsletter Issue', etc.

会計報告

Financial report table showing income and expenses. Total income: 254,819. Total expenses: 60,743. Balance: 194,076.